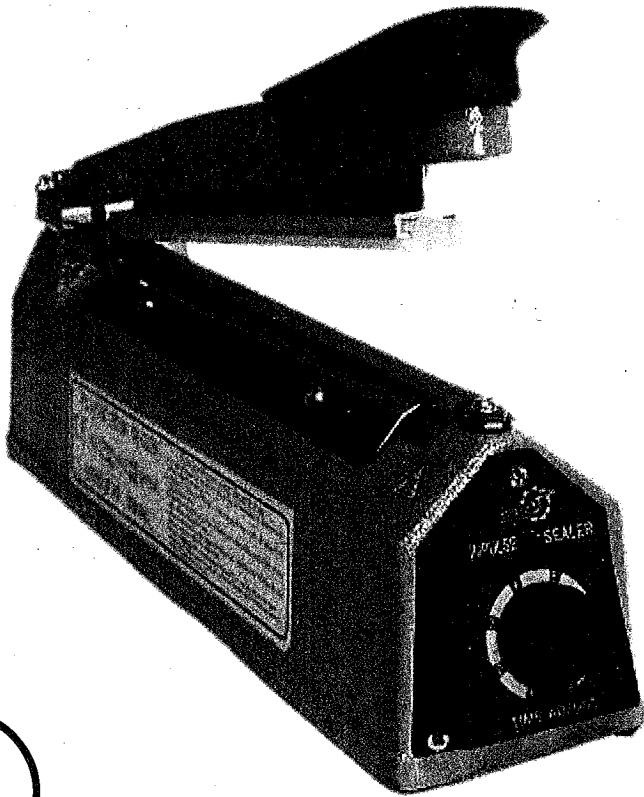


卓上式インパルスシーラー

FRシーラー

取扱説明書



このたびは、本品をお買い上げ頂きましてまことにありがとうございます。

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、  
正しく使用してください。




まちがった使用をされますと、機能を十分に発揮できなかつたり、  
故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。



1	安全のために必ずお守りください	4 ページ
2	各 部 名 称	7 ページ
3	使 用 方 法	8 ページ
4	消耗部品の交換	10 ページ
4-1	消耗部品の交換時期	10 ページ
4-2	消耗部品の交換時の注意	10 ページ
4-3	テフロンテープの交換	10 ページ
4-4	ヒーター線の交換	11 ページ
4-5	ヒートパッキンの交換	11 ページ
4-6	シリコンゴムの交換	11 ページ
5	故障と原因	12 ページ
6	仕 様	14 ページ

## 1. 安全のために必ずお守りください

●ここに示した事項は、△危険、△警告、△注意に区分しています。

 <b>危険</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される場合。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が負傷を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

『注意』の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 危険

### ★純正部品以外の使用はしない

機種にあった純正部品をお使いください。異機種の部品を使用しますと故障や火災の危険があります。

## 警告

### ★電源は適切なコンセントから取る

細い延長コードやタコ足配線は火災の危険性があります。適切なコンセントからお取りください。

### ★水をかけない

本体を水洗いしたり、液体の包装には使用しないでください。感電や故障の原因となり危険を伴います。また、水気のある場所での使用も危険です。

### ★部品交換時は電源コードのプラグを抜く

不用意に通電して火傷や感電の危険があります。

## ⚠ 注意

### ★高温部接触禁止

長時間作業を行ったり、シール直後はヒーターが通電していなくても高温になっていますので火傷をする危険性があります。

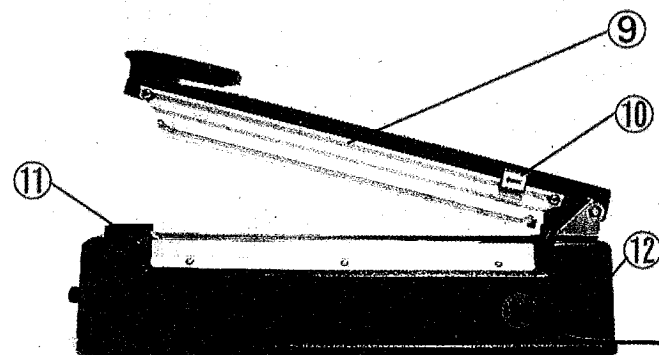
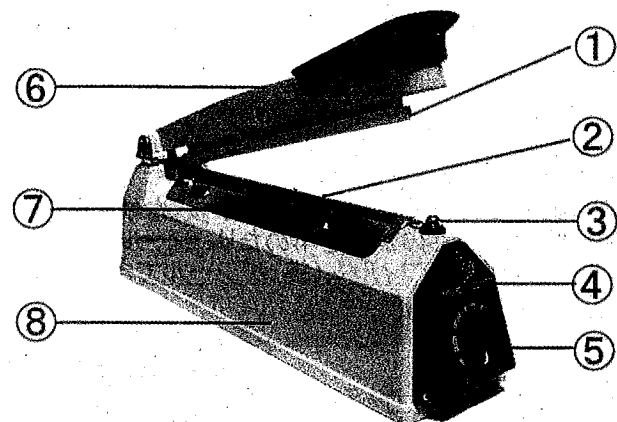
### ★長時間使用しないときは電源プラグを抜く

不用意に通電して火傷や感電の危険があります。

### ★改造の禁止

規定以外の部品を使用したり特異な作業を行った場合、火傷や感電の危険があります。

## 2. 各部名称



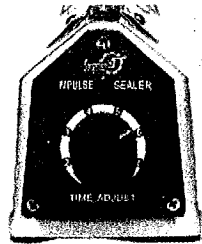
- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| ① シリコンゴム             | ⑦ テフロン押さえ金具              |
| ② シール部 (ヒーター部)       | ⑧ 本体 (ボディ)               |
| ③ 電極                 | ⑨ カッタースライドレール (カッター付のみ)  |
| ④ 通電ランプ (パイロットランプ)   | ⑩ カッターノブ (カッター付のみ)       |
| ⑤ 加熱時間調整つまみ (タイマーノブ) | ⑪ ヒーター線カバー (300, 400 のみ) |
| ⑥ 圧着レバー (ハンドルノブ)     | ⑫ 電源コード                  |

### 3. 使用方法

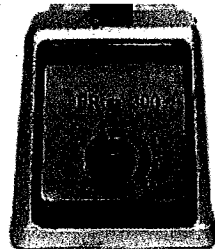
フィルム(袋)をセットして圧着レバーを押し下げるとヒーター線に通電してシールができます。きれいで確実なシールをするために、下記をご参照いただき、正しくお使いください。

#### ①加熱時間の設定をします。

加熱時間は袋の材質、厚さによって変わります。まずシールするフィルムに合わせて加熱時間を設定します。タイマーノブの目盛りを大きくすると加熱時間が長くなります。必要以上の加熱時間は部品の消耗を早めたり、シール不良を起こしますので、加熱時間は使用されるフィルム(袋)がシールできる最短の時間(必要最低限)に設定してください。



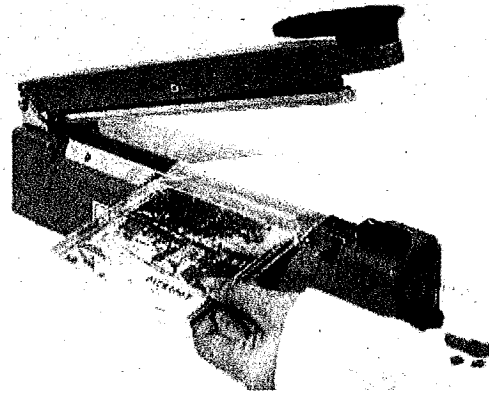
タイマーノブ FR-200, 400



タイマーノブ FR-300

#### ②フィルム(袋)をセットします。

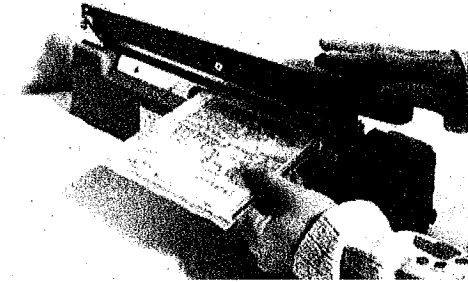
袋の開口部がしわにならないようにシール部にのせます。



#### ③圧着レバーを押し下げます。

袋をセットしたまま圧着レバーを押し下げます。

この時、袋をはさむと同時に本体内部のマイクロスイッチが入りヒーター線に通電します。(通電中はランプが点灯し、通電終了で消灯します。)



#### ④シール部を冷却します。

加熱終了後、数秒間は、レバーを押さえ続けてシール部を冷まします。ランプ消灯後すぐにレバーを上げると、溶着したシール部にしわがよったり、フィルムが伸びて薄くなり強度不足がおきたりします。

#### ⑤レバーを上げてシール完了。

シール部の冷却が済んで圧着レバーを持ち上げたら、シール作業が完了します。

#### ⑥加熱時間の再調整

シール作業を連続して行いますと、ヒーター部分に熱がこもって徐々にシール部の温度が上昇します。

シール部の温度が上昇すると、シール不良や部品の消耗を早める原因になりますので、連続使用時に溶着過多になってきた場合は初回の加熱時間よりも短くなるようにタイマーを再調整してください。

※シーラーを良好な状態でお使いいただくため、連続使用時にはシール作業間に十分なインターバルをお取りください。  
又、良好なシールを保つ為、シール部(テフロンテープ部分)には異物やホコリ等がつかない様に常に清潔に保ってください。

※シール回数目安は500回/1日以下を推奨しております。1日あたりの使用回数は500袋以下でお使いください。

## 4. 消耗部品の交換

加熱シールする本品は、シール回数が増すことによって消耗部品が徐々に劣化します。消耗部品は必要に応じて交換をしてください。

### 4-1 消耗部品の交換時期

各部品の交換時期は下記を目安にしてください。

#### ● テフロンテープ

焦げて表面がザラついている、表面が切れている。(シールが汚い)

#### ● ヒーター線

断線してシールがまったくできない。(使用回数 5,000回位での交換を推奨)

#### ● ヒートパッキン

表面が焦げている。焼け切れたりゆがんだりしている。  
(通常はテフロンに覆われていますので、テフロンテープ交換時に確認してください。)

#### ● シリコンゴム

焦げて表面がザラついている、表面が焼け切れている。(シールが汚い)

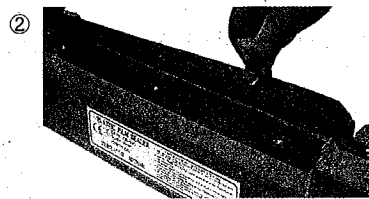
### 4-2 消耗部品の交換時の注意

部品交換の際には、必ず電源コードを抜いてから作業を行ってください。  
間違った部品交換はシール不良や火災の原因になりますので充分注意をして正しく作業してください。

### 4-3 テフロンテープの交換



① テフロン押え金具のねじを緩めます。  
テフロンテープが引き出せる程度に緩めてください。

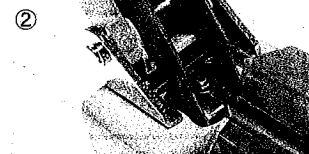
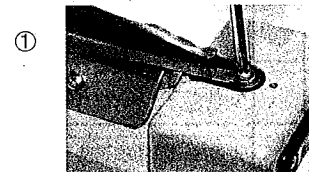
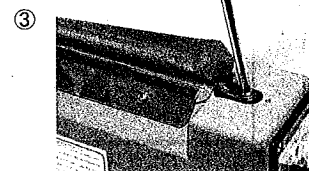


② テフロンテープを引き出し、取り外します。

③ テフロンテープの大きさを調整します。  
必要に応じてはさみ等でテープの長さをそろえてください。

④ テフロンを装着して押え金具を締める。  
テフロンテープを本体と押え金具の間に挟みこみ、皺や歪みがない様に注意しながらビスを締め付ける。(必要以上に強い力で締めないようにしてください。)

### 4-4 ヒーター線の交換



#### ● ヒーター線の取り外し

① ヒーター線カバーを、ビスを緩めて取り外します。  
(FR-300, 400 のみ)

② テフロン押え金具(どちらか片方でOK)のビスを緩めテフロンテープをめくり上げます。  
(テフロンはヒーター線の上部の一枚です。)

③ ヒーター線取り付けビスをはずすとヒーター線が外れます。

#### ● ヒーター線の取り付け

① 手前の電極にヒーター線をビスで仮止めします。  
(奥の電極がフック式の場合)

② ヒーター線のもう一方を奥の電極に引っ掛けます。

③ ヒーター線の手前の電極のビスを本締めします。  
(ビスの締め付け過ぎは破損の原因になります。ヒーター線にねじれやしわが無い程度に適度な力で締めてください。)

※前後の電極がビス止めのものは奥の電極からビス止めをしてヒーター線を取り付けます。

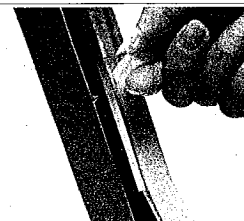
④ テフロンテープを取り付け、ヒーター線カバーを取り付けます。(ヒーター線カバーはFR-300, 400 のみ)

### 4-5 ヒートパッキンの交換

ヒートパッキンは機械本体が高温になるのを防ぎ、ヒーターと本体の接触・ショートを防止する部品です。

ヒーター線の下の特フロンと本体の間の部品で、交換はテフロンテープをめくり上げ、ヒーター線を取り外して交換します。

### 4-6 シリコンゴムの交換



シリコンゴムは圧着レバー裏にある部品です。交換の際はシリコンゴム取り付けレールの溝に沿ってはめ込みます。

## 5. 故障と原因

		原因							
		コンセント	電源コード	タイマー	ヒーター線	タイマー調整	テフロンテープ	シリコンゴム	操作
圧着レバーを押さえてもシールできない		●							コンセントに電気がきていない
								●	レバーを押し切っていない
		●							電源コード、配線の断線
				●					タイマー基盤の不良
通電ランプは点灯するがヒーター線が加熱しない				●					ヒーター線の断線
				●					ヒーター線の接触不良
通電ランプがつきっぱなしでヒーターが焼ける					●				タイマー目盛の上げ過ぎ
				●					タイマー基盤の不良
シールがきれいにできない	シールが溶ける				●				加熱時間が長い
	シールが縮んでしわができる							●	冷却時間が短い
	シールむらがある					●	●		テフロンテープの装着不良、消耗部品の劣化
	シール強度が弱い				●				加熱時間が短い



**警告**

このマークの付いている処置は電気知識のある方が行ってください

確認	処置方法
コンセントに他の電気機器を入れても動作しない	ブレーカーやコンセントなどを確認する <b>警告</b>
レバーを押さえたときにスイッチ音(カチッという音)がしない	圧着レバーを少し強めに押す
レバーを押さえても通電ランプが点灯しない	販売店までお問い合わせください
レバーを押さえても通電ランプが点灯しない ※上記のいずれにも該当しない	温調器を交換 販売店までお問い合わせください <b>警告</b>
ヒーター線が断線している	ヒーター線を交換する
ヒーター線の取り付けビスが緩んでいる	ヒーター線取り付けビスを締めなおす
	タイマー目盛りを下げる
タイマーの目盛りを最小にしてもヒーターが焼ける	温調器を交換 販売店までお問い合わせください <b>警告</b>
	タイマー目盛りを下げる
	通電ランプが消えても圧着レバーを数秒押さえたままにしてシール部を冷却する
テフロンテープにしわがある テフロン・シリコンゴムがこげている	テフロンテープにしわが無いように装着する 劣化している消耗部品を交換する
	タイマー目盛りを上げる

## 6. 仕様

品名	電圧	電力	シールサイズ	寸法	重量
FR-200L	100V	300W	200×2.4mm	75(W)×320(D)×150(H)	2.4kg
FR-200LY	100V	300W	200×0.5mm	75(W)×320(D)×150(H)	2.4kg
FR-200LC	100V	300W	200×2.4mm	75(W)×320(D)×150(H)	2.5kg
FR-200LB	100V	600W	200×10mm	75(W)×320(D)×150(H)	2.9kg
FR-300L	100V	400W	300×2.6mm	85(W)×440(D)×160(H)	3.8kg
FR-300LY	100V	400W	300×0.5mm	85(W)×440(D)×160(H)	3.8kg
FR-300LC	100V	400W	300×2.6mm	85(W)×440(D)×160(H)	3.9kg
FR-300LB	100V	800W	300×10mm	85(W)×440(D)×160(H)	4.5kg
FR-400L	100V	500W	400×2.8mm	75(W)×540(D)×165(H)	4.0kg
FR-400LY	100V	500W	400×0.5mm	75(W)×540(D)×165(H)	4.0kg
FR-400LC	100V	500W	400×2.8mm	75(W)×540(D)×165(H)	4.5kg

生産地：中華人民共和国